

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

			機関番号	3 2 6 0 4
所属研究機関名称		大妻女子大学		
研究 代表者	部局	社会情報学部		
	職	教授		
	氏名	山倉 健嗣		

1．研究種目名

基盤研究(C)(一般)

2．課題番号

19K01868

3．研究課題名

企業－ステイクホルダー関係における媒介者の機能・パワー・正当性に関する研究

4．補助事業期間

令和元年度～令和3年度

5．研究実績の概要

企業がいかにステイクホルダーとの関係を形成、維持、変革していくのかは理論的に、実証的に重要な課題である。経営戦略論、組織間関係論などにおいて取り扱われていた。従来の研究では企業と個別のステイクホルダーとの2者関係に注目し、取引や提携に焦点を当てた研究を行ってきた。

本研究では取り上げられることが少なかった、企業とステイクホルダーとの関係を媒介する存在（媒介者）に注目する。企業とステイクホルダーとの関係は媒介者を通じて形成・展開・評価・変革されることがあるからである。特に不確実性が高く多義性が大きい企業とステイクホルダー関係において、媒介者の機能・パワー・正当性に焦点を当てる意義はきわめて大きい。特に取引される財・サービスの価値が当事者によって客観的に評価されるのが困難な業界においては、その価値についての情報を提供するだけでなく、正当性、妥当性を与える媒介者の重要性は明らかである。映画、音楽、出版などのクリエイティブ産業を把握するためには、批評家、評論家、フェスティバル、評価機関等の媒介者に注目し、評判の連鎖・ネットワークを視野に入れることが重要であることが文献研究から明らかになった。

また媒介者の機能が何なのか、情報提供機能なのか、連結機能なのか、指示機能なのか、正当性の付与機能なのかについての解明が必要である。

企業がステイクホルダーとの間で提携を結ぶとき、以前からの関係がない時には媒介者の役割は極めて大きい。また地域レベルにおける媒介者（大学も含む支援組織）に注目することは地域再生への新たな示唆を与えることにつながる。組織論における制度理論、社会学における正当性理論・トライアド研究を踏まえた、多面的な研究が必要である。

6．キーワード

ステイクホルダー 媒介者 組織間関係 正当性 パワー

7．現在までの進捗状況

区分	(2) おおむね順調に進展している。
理由	媒介者に関する研究のサーベイは順調に進んでいる 地域レベルの媒介者としての大学についての研究を進めることができた クリエイティブ産業を中心に、インタビューの準備は行った。

8．今後の研究の推進方策

媒介者に関するサーベイを引き続きおこなっていく
媒介者を組み込んだ企業とステイクホルダー関係のモデルを構築する
調査対象については現在の状況を踏まえ再検討する必要がある

9．次年度使用が生じた理由と使用計画

購入予定の書籍が届かなかった。
予定の出張が調査対象の都合により実現できなかった。書籍についてはしかるべき手続きをとるとともに、出張も十分に準備の上行いたい

10．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

1．著者名 高橋賢	4．巻 40-2
2．論文標題 我が国における直接原価計算の外部報告論争に関する一考察	5．発行年 2019年
3．雑誌名 横浜経営研究	6．最初と最後の頁 1 - 14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1．著者名 高橋賢	4．巻 40-3・4
2．論文標題 ネットワーク組織におけるアイドル・キャパシティ・マネジメント	5．発行年 2020年
3．雑誌名 横浜経営研究	6．最初と最後の頁 37 - 49
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Heller,D.A	4. 巻 未定
2. 論文標題 Lessons for on-the-spot recovery:Riken and the 2007 Chuetsu offshore Earthquake	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Discussion Papers,Center for Economic Development and Strategy、,Yokohama National University	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabe,S and Heller,D	4. 巻 333
2. 論文標題 Applying the automation concept to White-Collar Departments at Toyota motors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Working Paper[Faculty of Business Administration,Yokohama National University]	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計4件

1. 著者名 高橋 賢	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 256
3. 書名 管理会計の再構築	

1. 著者名 安藤 史江、稲水 伸行、西脇 暢子、山岡 徹	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 248
3. 書名 経営組織	

2 版

1．著者名 柴 健次	4．発行年 2019年
2．出版社 同文館出版（株）	5．総ページ数 248
3．書名 異文化対応の会計課題	

1．著者名 山倉健嗣、中村公一、境新一ほか	4．発行年 2020年
2．出版社 中央経済社	5．総ページ数 220
3．書名 連携の組織論：組織間関係論の展開	

1 1．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

1 2．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4．備考

-